

令和7年産水稻の出穂状況について（8月1日現在）

1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月1日現在、水稻作付面積の74.1%の水田が出穂期^{※1}を迎えている。県全体の出穂期^{※2}は7月30日で平年より2日早い。
- 降水量が少なく、今後も高温が続くことが予想されているが、出穂直前から穂揃期は稲が最も水を多く必要とする時期なので、限られた用水で土壌を湿った状態に保つ「^{ほうすい}飽水管理^{※3}」を徹底する。また、出穂から30日程度は土壌の湿潤状態を保ち、落水はそれ以降とする。
- 斑点米カメムシ類は平年より多く、やや早く発生している。防除時期が遅れないよう出穂状況を確認し、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を基本として薬剤防除を実施する。

※1 出穂期（しゅつすいき）：ほ場内の50%以上が出穂に達した時期

※2 県全体の出穂期：水稻作付面積の50%以上が出穂期に達した時期。

※3 飽水管理（ほうすいかんり）：田面が浸るくらいに入水し、水田にある足跡に水がなくなる頃を目安に入水する水管理方法。
必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

2 出穂状況（具体的データ）

（1）県全体

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月25日	7月30日	未
平年	7月28日	8月1日	8月9日
平年差	3日早い	2日早い	—
（参考）前年	7月24日	7月29日	8月5日

※平年値は平成27～令和6年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

（2）地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付 面積(ha) [注]	8月1日現在出穂状況		出穂(月日)			(参考)平年値		
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂 始期	出穂期	穂揃期	出穂 始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,060	5,180	85.5	7/22	7/28	未	7/26	7/30	8/9
仙台	10,678	9,367	87.7	7/25	7/30	未	7/28	8/1	8/8
大崎	16,581	13,054	78.7	7/25	7/27	未	7/28	8/1	8/8
栗原	8,638	4,760	55.1	7/26	7/31	未	7/28	8/1	8/10
登米	9,116	6,108	67.0	7/26	7/31	未	7/29	8/1	8/7
石巻	6,529	4,295	65.8	7/26	7/30	未	7/28	8/1	8/9
気仙沼	617	360	58.3	7/29	8/1	未	7/31	8/4	8/10
県計	58,219	43,123	74.1	7/25	7/30	未	7/28	8/1	8/9

[注]作付見込面積は令和6年産の水田における作付状況(令和6年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

※平年値は平成27～令和6年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

（3）地帯区分別

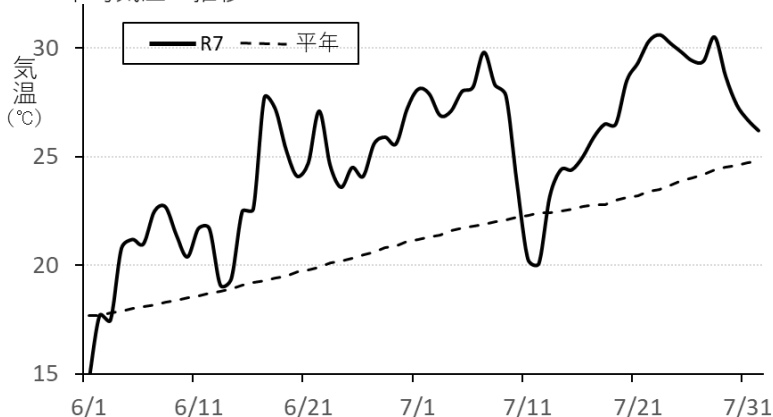
地帯区分	水稻作付 面積(ha) [注]	8月1日現在出穂状況	
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)
山間高冷	850	392	46.1
西部丘陵	4,831	3,802	78.7
北部平坦	38,907	27,508	70.7
南部平坦	4,943	4,417	89.4
三陸沿岸	1,203	733	61.0
仙台湾沿岸	7,484	6,270	83.8
県計	58,219	43,123	74.1

[注]作付見込面積は令和6年産の水田における作付状況(令和6年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

3 気象経過（仙台アメダス）

平均気温の推移



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年比	平年比	平年比	平年比
6月	22.8	3.6	62.5	43%	213.3	148%
7月	27.2	4.3	18.5	10%	223.9	177%
上旬	27.6	5.8	4.5	7%	54.6	144%
中旬	24.5	1.8	14.0	21%	55.3	145%
下旬	29.3	5.2	0.0	0%	114	228%

※出穂状況は今回で終了です。
次回は刈取状況を9月中旬に発表
予定です。